アメニティデザイン企業

DAIKEN

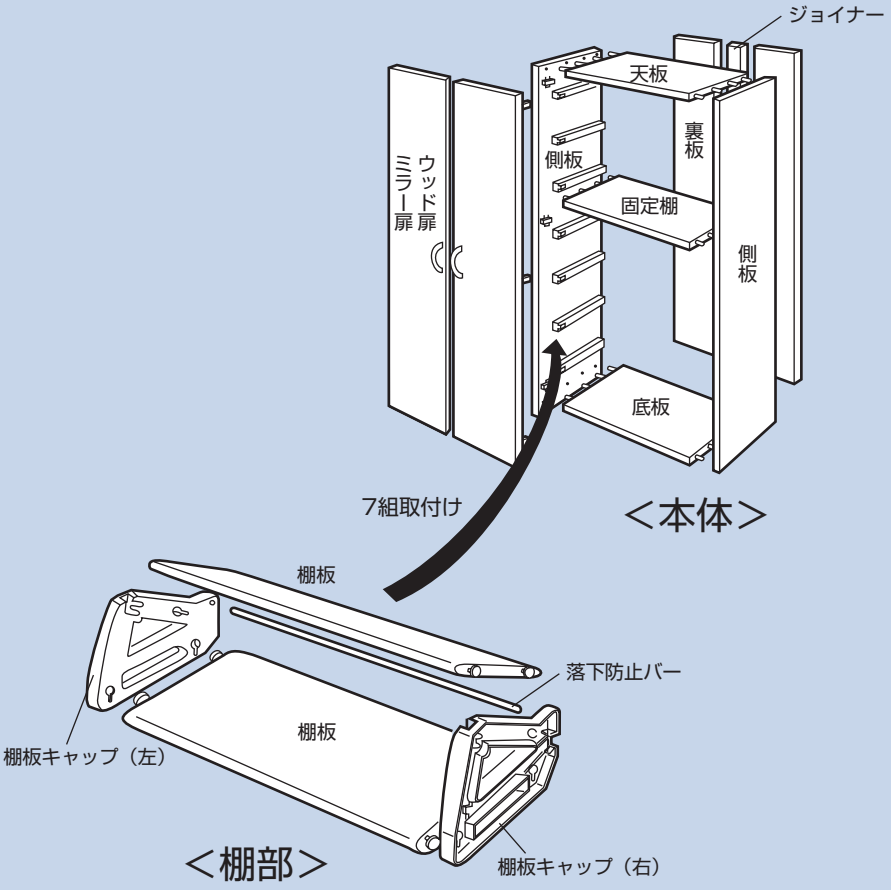
施工説明書・取扱説明書

施工業者様用・お施主様用

※この説明書には扉の調整方法・お手入れ方法が記載されています。
必ずお施主様にこの説明書をお渡しください。

ダイケン玄関収納

2段スライド収納



もくじ

1. 安全上のご注意 ……1
2. 製品寸法図 ……2
3. 梱包部品の確認 ……2
4. 施工上のご注意 ……3
5. 本体の組み立て ……4
6. 部品の取り付け ……5
7. ユニットの設置 ……6
8. 扉の取り付け ……7
9. 扉の調整 ……8
10. ご使用方法 ……8

●この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。

●この説明書に出てくる⚠**注意**や◆**施工上のご注意**は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。

■施工の際は以下の工具をご用意ください。
- 電動ドリル（+2番ビット・φ4.5ドリルビット）
- コンベックス等測定機器
- ゴムハンマー
- 丸ノコなど
  （フロート施工支持桟などの現場カット用）
- 水準器
- クランプ/万力など（ユニット連結用）

大建工業株式会社

玄収10R-スライドST101122

1. 安全上のご注意（必ずお守りいただきたいこと）

ダイケン玄関収納を長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

危険の定義とシンボルマーク

この説明書では、「注意事項」を以下のような定義で使用しています。

⚠警告
取扱を誤った場合、施工者または使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意
取扱を誤った場合、施工者または使用者が重傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合

⚠警告

- ユニットの壁への固定は、正しい位置に指定本数の壁固定ネジで確実に行ってください。
- 固定の際、必ず間柱や、30ミリ厚以上の十分な下地に固定できるように下地の配慮をお願いします。

⚠注意

- 一般住宅室内（玄関）用の収納です。他の用途（室外や湿気の多い場所）に使用しないでください。
- 製品の改造はしないでください。製品強度が失われる可能性があります。
- ボックス本体は接着剤を使い、指定のビスで正しく組み立ててください。
- 扉の吊込み・調整は、本文を参照し、正しく確実に行ってください。取り付けが確実でないと、金具の破損や、扉の脱落の原因にもなります。
- 上り框に一部のせた形で、設置する場合は、必ず台輪と脚を使用してください。
  固定、設置方法が確実でないと、ユニットの転落や落下の原因となります。
- 組み立てや設置の作業は、必ず2人以上で行ってください。
  1人での作業は事故の原因となります。

ホルムアルデヒド発散区分資料

施工業者様用

DAIKEN 玄関収納 2段スライド収納	F☆☆☆☆（住宅部品表示ガイドラインによる）

この度はDAIKEN 玄関収納 2段スライド収納をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品のホルムアルデヒド発散に関する性能担保は下の図表の様になっております。建築確認の際に本資料をご利用ください。

●製品の構成とホルムアルデヒド発散区分

規制対象外（F☆☆☆☆）

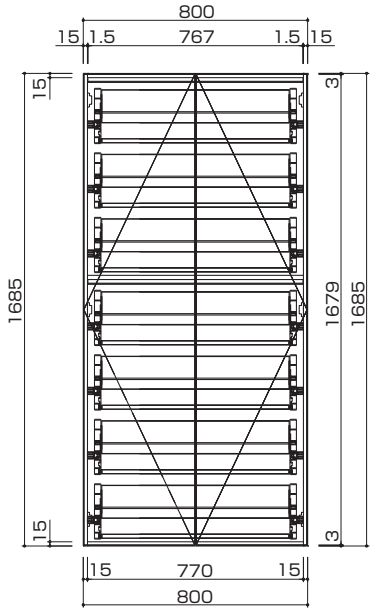
構成部位		内装仕上げ部分（表面）				下地部分（裏面・内面）			
		ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分		認定番号	ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分		認定番号
①扉	RIIIウッド扉（フラット・縦框・カマチ）	ポリサンド紙張MDF	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0144	樹脂シート張MDF	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0143
		ポリサンド紙張PB	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0149	樹脂シート張PB	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0147
	マテリアート・ハイグロス	樹脂シート張MDF	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0143	樹脂シート張MDF	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0143
	レリーフアート	樹脂シート張MDF	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0143	樹脂シート張MDF	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0143
	ミラー扉	—	—	—	—	樹脂シート張MDF	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0143
②ボックス類	側板・天板・底板	化粧紙張PB	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0149	同左			
	固定棚	—	—	—	—	化粧紙張PB	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0149
	裏板	—	—	—	—	樹脂シート張MDF	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0144
④台輪		化粧紙張PB	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0149	同左			
③エンドパネル		樹脂シート張MDF	大臣認定品	規制対象外(F☆☆☆☆)	MFN-0143	同左			

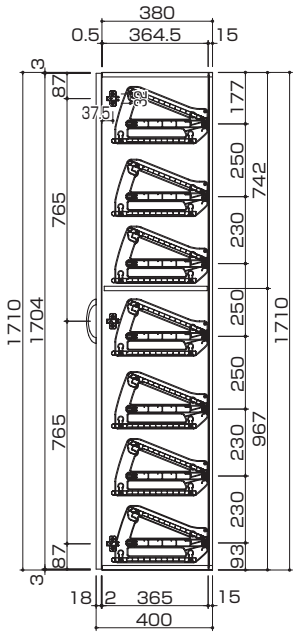
規制対象外部位・告示対象外

④樹脂棚板/調湿パネル/把手/丁番/ミラーほか	告示対象外
⑤目地板/目地棒/フロート施工用支援桟	規制対象外部位：規制対象外（F☆☆☆☆）同等品質材料を使用
⑥脚セット/手摺棒	規制対象外部位：規制対象外（F☆☆☆☆）同等品質材料を使用

◎製品に関する情報・お問い合わせ
最寄の弊社営業所（施工説明書に記載）に問い合わせいただくか、弊社ホームページ（http://www.daiken.jp/）をご利用ください。

2. 製品寸法図





3. 梱包部品の確認

組み立て前に部品数を確認してください。

部材名 ＼ 梱包名		スライド収納 6尺高 W800	備　　考	梱包形態
スライド用側板		2		本体
天板		1		
底板		1		
固定棚		1		
裏板		2		
裏板ジョイナー		1	ABS（グレー）	
スライド棚		7		棚板セット
裏板取付部品		4		
裏板取付ネジ		4	バイントφ3.0×16	
ユニット固定部品		6	ABS	
ユニット固定部品取付ネジ		12	トラスφ4.0×20	
壁固定ネジ		6	コーススレッドW51 φ3.8×51	
ユニット連結ネジ		6	皿φ3.8×28	
連結ワッシャ		6		
連結キャップ		6	グレー	
クリアバンポン		4		
丁番本体		6		
丁番プレート		6		
接着剤		1	20g入り	
施工説明書		1		
「さらりあ～と」パネル		2（W 632）		
「さらりあ～と」受け（前）		2（L 660）		
「さらりあ～と」受け（後）		2（L 660）		
ウッド	ハンドル扉（ウッド）	2		ハンドル用扉
	ハンドル	2		別梱包
（片）ミラー	ハンドル扉（ウッド）	1		ハンドル用扉
	ミラー扉	1	通し引手（ハンドルレス）仕様	別梱包
	ハンドル	1		別梱包
ウッド	ハンドルレス扉	2		ハンドルレス扉
	プッシュオープン金具	2	本体に現場取り付け	別梱包
（片）ミラー	ハンドルレス扉	1		ハンドルレス扉
	ミラー扉	1	通し引手（ハンドルレス）仕様	別梱包
	プッシュオープン金具	1	本体に現場取り付け	別梱包

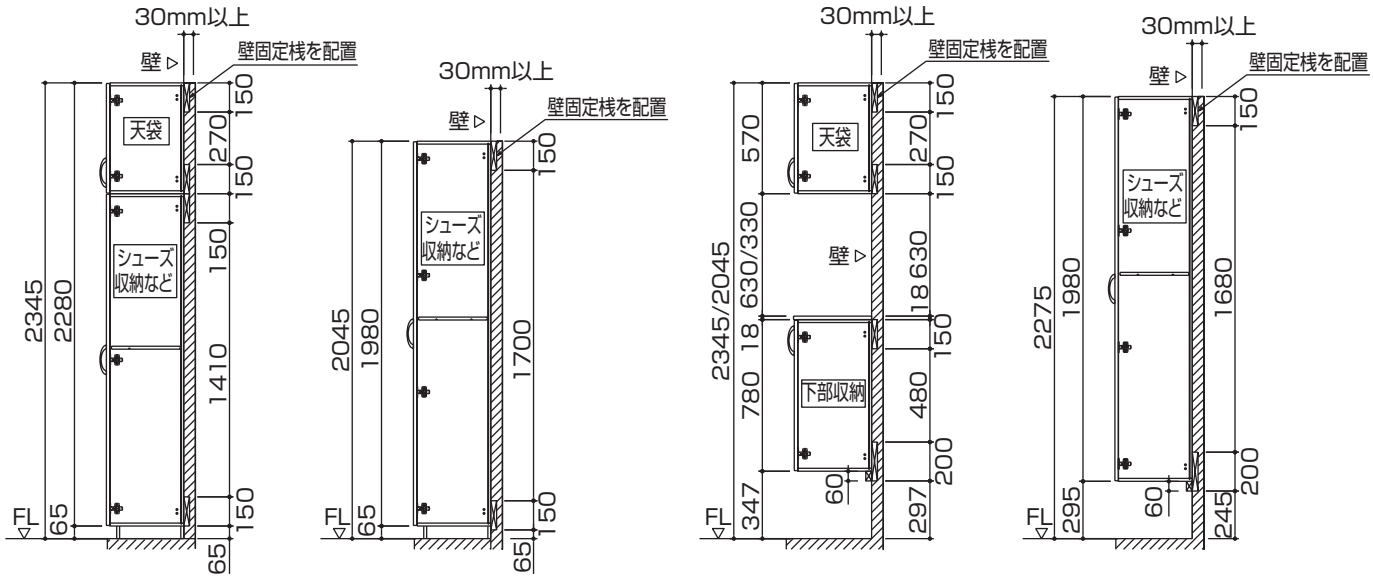
4. 施工上のご注意

壁固定位置

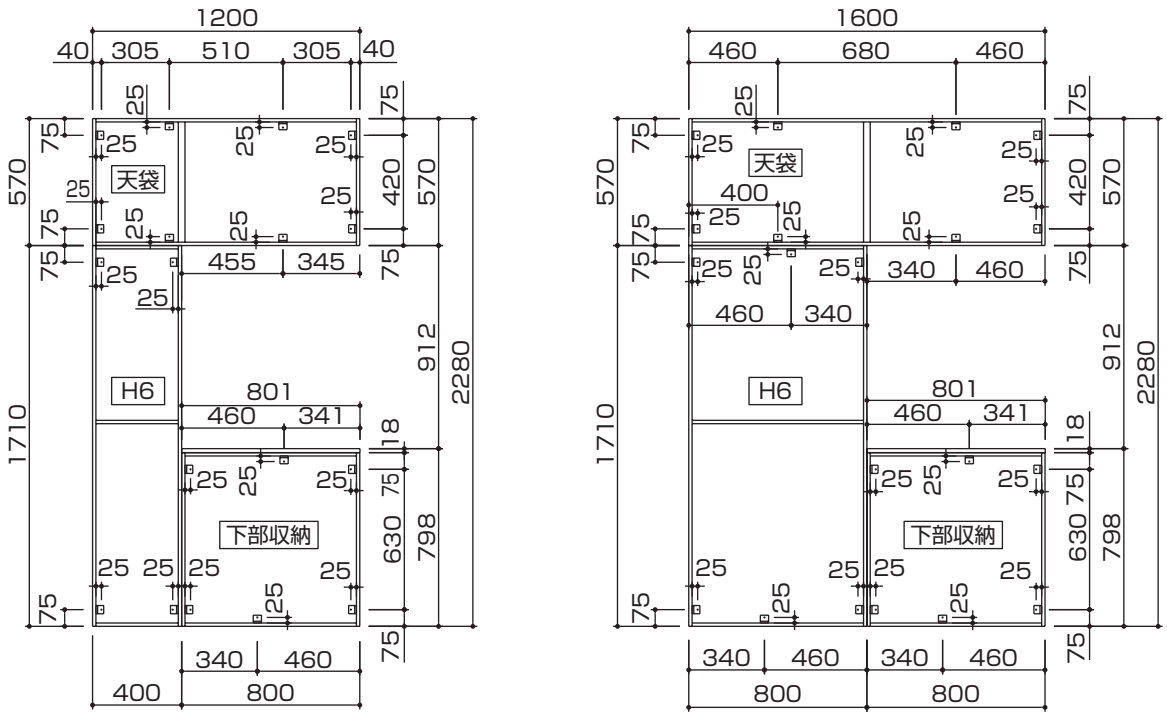
図の位置に、壁固定の為の桟を配置し、固定が確実に行えるようにしてください。

●壁固定用桟位置

壁面に壁固定木桟を配置してください。（30×150mm以上）



●固定位置



⚠警告

- ユニットの壁への固定は、正しい位置に指定本数の壁固定ネジで確実に行ってください。
- 固定の際、必ず間柱や固定用桟に固定できるように下地の配慮をお願いします。
  固定・設置方法が確実でないと、ユニットの転倒や落下の原因となります。

5. 本体の組み立て

●組み立ては、梱包の段ボールを敷いてから行ってください。

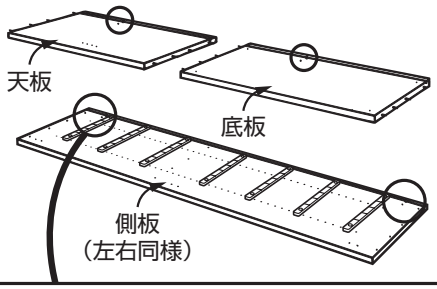
ボックス本体

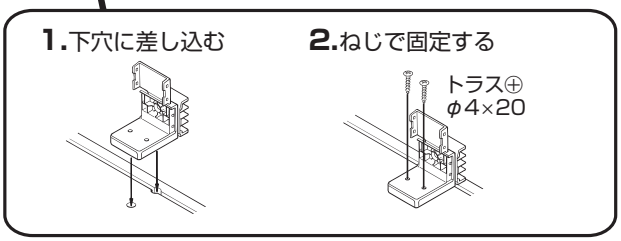
1. 天板・底板・側板に付属のユニット固定部品を取り付けます。

施工上の注意

必ず初めにユニット固定部品を取り付けてください。
（裏板の差し込み後は、取り付けできません。）

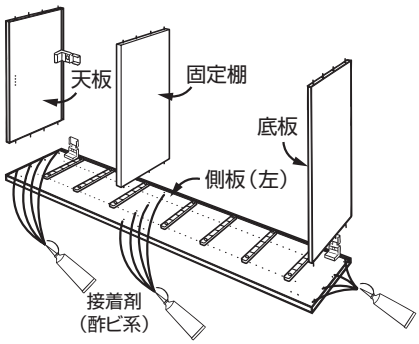
※すき間なくピッタリとねじ止めしてください。



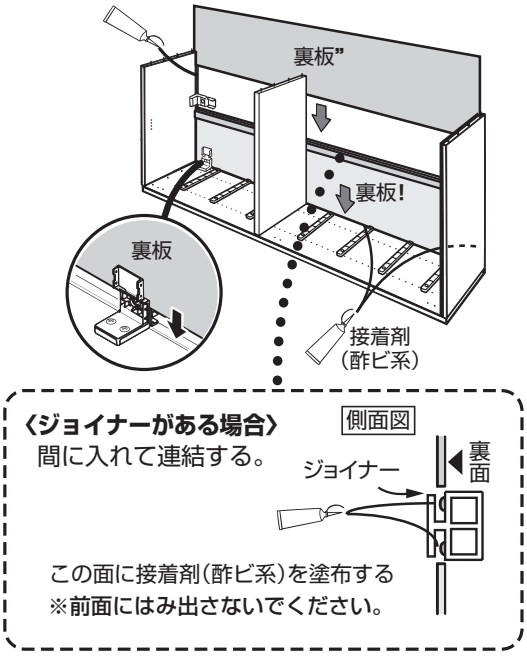


2. 天板・側板（左）・底板・固定棚の組み立て

ダボ穴に付属の接着剤を塗布し、組み立てます。



3. 天板・底板・側板の溝に付属の接着剤を塗布し、裏板を固定部品・溝に差し込みます。

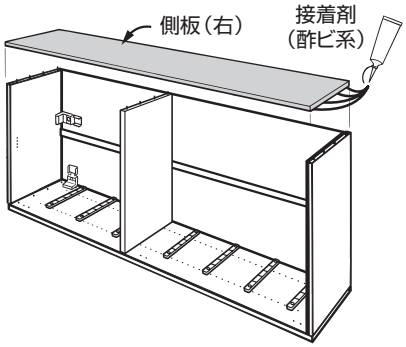


〈ジョイナーがある場合〉
間に入れて連結する。

この面に接着剤（酢ビ系）を塗布する
※前面にはみ出さないでください。

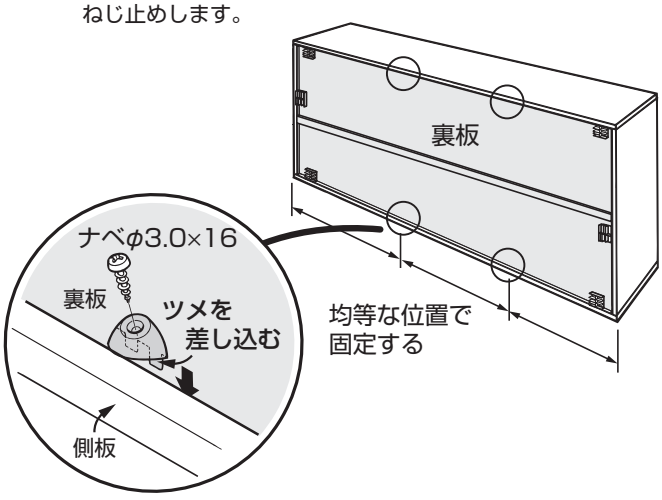
4. 側板（右）の取り付け

側板のダボ穴・溝に付属の接着剤を塗布し、取り付けます。



5. 裏板の固定

裏板取付部品のツメを裏板と側板の溝に差し込み、ねじ止めします。

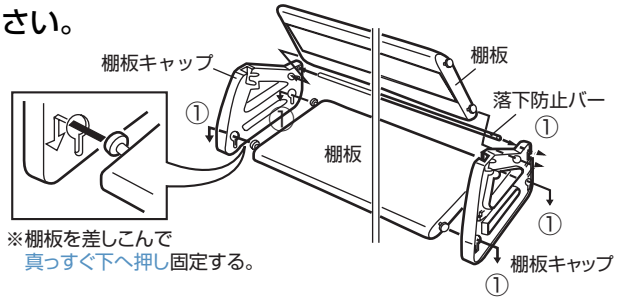


5. 本体の組み立て (P.4のつづき)

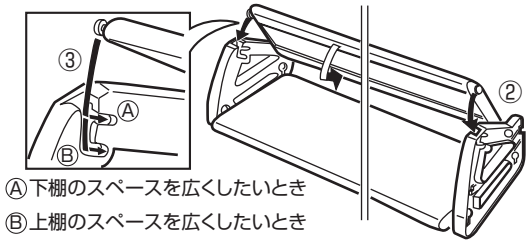
●組み立ては、梱包の段ボールを敷いてから行ってください。

棚 部 分

1. 棚板キャップと棚板・落下防止バーの組み立て
下側の棚板を左右の棚板キャップではさみ、図の様に固定します。
※この時、上側の棚板と落下防止バーを図の様にはさんでおきます。



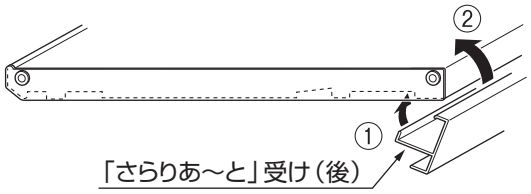
2. 棚板（上）の取り付け
上側の棚板を図の様に差しこみ（Ⓐ又はⒷ）、固定します。



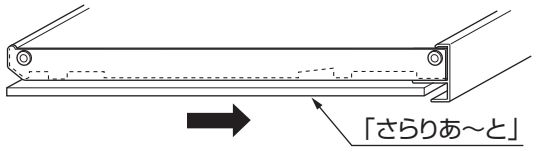
6. 部品の取り付け

「さらりあ～と」の取り付け

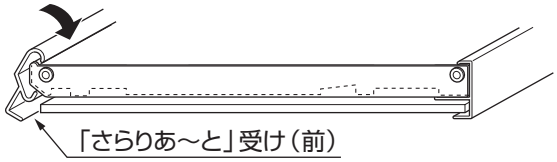
手順1 「さらりあ～と」受け（後）はめ込み



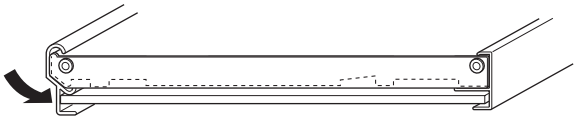
手順2 「さらりあ～と」はめ込み



手順3 「さらりあ～と」受け（前）はめ込み

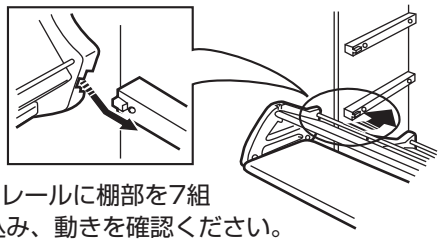


手順4 「さらりあ～と」受け（前）に「さらりあ～と」をはめ込む



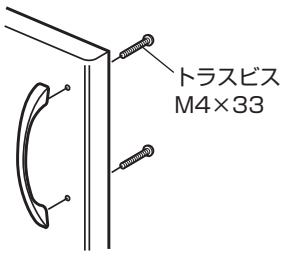
棚部の取り付け

※扉の取り付け・調整が済んだ後に取付けください。

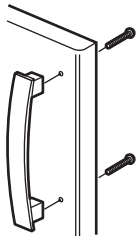


※7段のレールに棚部を7組
差し込み、動きを確認ください。

ハンドルの取り付け
（ハンドルレス扉の場合はなし）

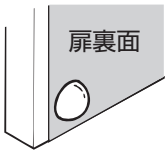


レリーフアートシリーズの場合



クリアバンポンの貼り付け

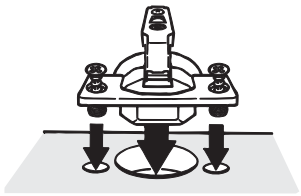
扉裏面にクリアバンポンを貼り付けてください。
※グレーシート部に貼ってください。※ハンドルレス扉には貼付不要です。
※カマチタイプは扉に取付済のため不要です。
※扉裏面の天板・底板にピッタリ当たる位置に貼ってください。



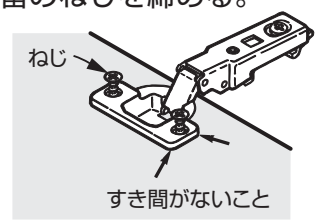
6. 部品の取り付け (P.5のつづき)

丁番本体の取り付け

1. 扉の下穴に丁番をはめ込む。



2. 丁番のねじを締める。

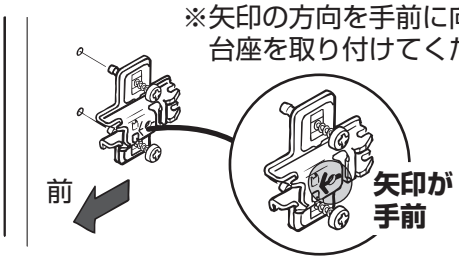


施工上のご注意
丁番本体と扉とのすき間がないことを確認してください。

丁番プレートの取り付け

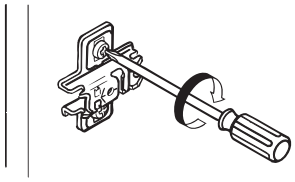
1. 側板の下穴に丁番台座をはめ込む。

※矢印の方向を手前に向けて台座を取り付けてください。



施工上のご注意
丁番台座には前後があるので、注意する。

2. ドライバーでねじを締めて固定する。（2か所）



⚠注意 丁番台座と側板とのすき間がないことを確認してください。

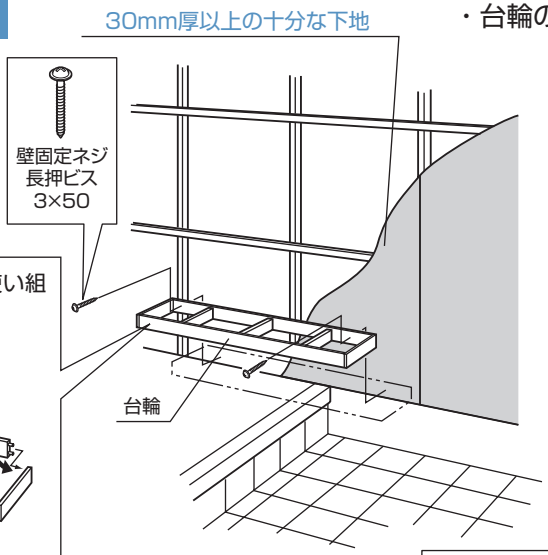
丁番本体・丁番プレートはできるだけはずさないようにしてください。

7. ユニットの設置

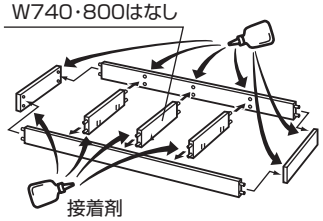
台輪またはフロート施工支持桟の設置

台輪を使用する場合

施工上のご注意
脚取り付け用のナットが下側になるように施工します。

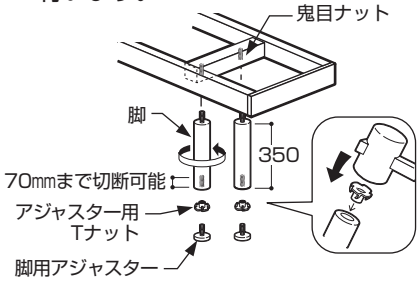


図のように台輪を接着剤を使い組みたててください。



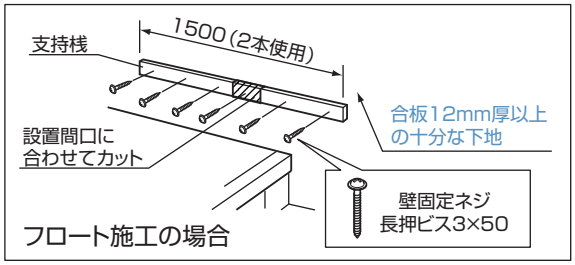
・上り框に一部のせた形で設置する場合は図のように脚（別売）を使用してください。
・台輪の上に各ユニットを設置していきます。

脚、アジャスターの取付け
●状況に応じて脚、アジャスターを使用します。
●取付けは台輪下面の鬼目ナットへ行います。



フロート施工の場合

・台輪を使用せず、床から浮かして施工する場合（※天袋以外）は、図のようにフロート施工用支持桟（別売）を壁面に固定した上で、各ユニットを設置してください。



7. ユニットの設置 (P.6のつづき)

ユニットの連結および壁への固定

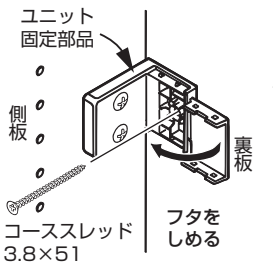
他ユニットとの連結

・ユニット連結ビス（皿ビス3.8×28　ワッシャー・キャップ付）を用い、BOX前木口から30ミリ程の位置で連結してください。

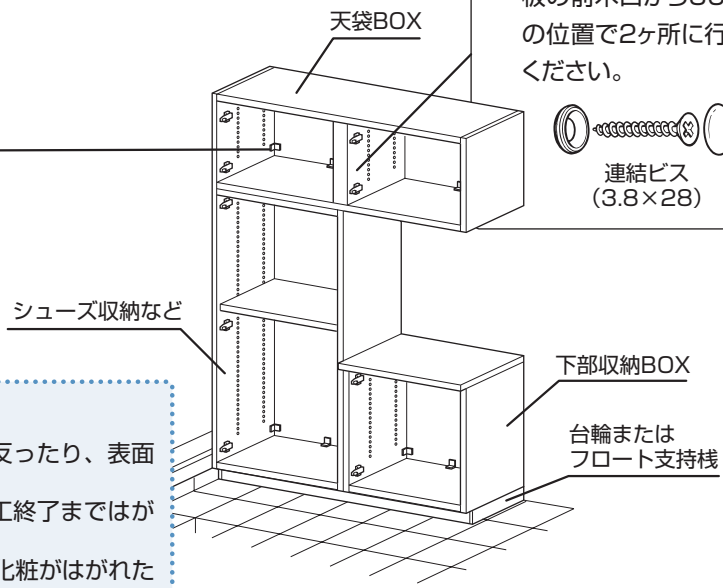
壁への固定

・壁の下地を確認し、ユニット固定部品の位置で、壁固定ネジ（コーススレッドφ3.8×51）で固定してください。

<躯体への固定>



<ユニットどうしの連結>
※シューズ収納等と天袋、又は下部収納とシューズ収納等との連結は側板の前木口から30mmの位置で2ヶ所に行ってください。



◆ 施工上のご注意

- ストーブ等の熱源を近づけないでください。扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。
- ハイグロスタイプ扉のプロテクトフィルムは、施工終了まではがさないで傷がつかないようにしてください。
- 養生テープを直接製品に貼らないでください。表面化粧がはがれたり、接着剤が残る可能性があります。

⚠警告

- ユニットの壁への固定は、正しい位置に指定本数の壁固定ネジで確実に行ってください。
- 固定の際、必ず間柱や固定用桟に固定できるように下地の配慮をお願いします。

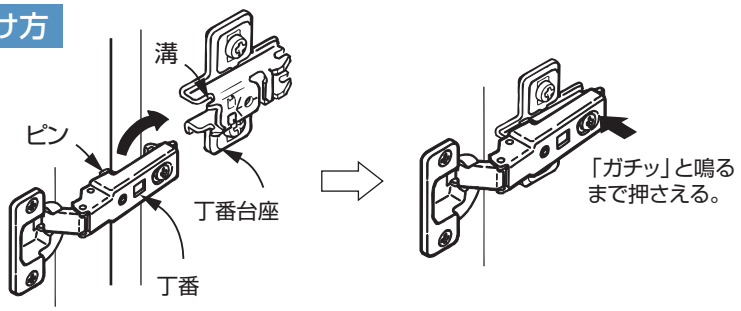
⚠注意

- 上り框に一部のせた形で設置する場合は、必ず台輪と脚を使用してください。
- 下部収納、シューズ収納、ロング収納Aを床から浮かせてフロート施工する場合は、フロート施工用支持桟（別梱）を使用してください。
  固定・設置方法が確実でないと、ユニットの転倒や落下の原因となります。
- 設置作業は必ず2人以上で行ってください。1人での作業は事故の原因となります。

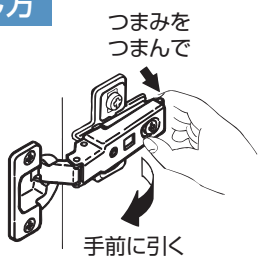
8. 扉の取り付け

●扉を下図の様に取り付けてください。（どの高さ位置の丁番からでも取付けることができます。）

取り付け方



外し方



⚠注意

扉を本体に取り付ける際は、丁番本体が「カチッ」と音がするのを確認してください。
取り付けが確実でないと、丁番の破損や、扉の脱落の原因となります。

9. 扉の調整

●扉を取り付けた後、下記の方法で、扉の目地幅や、扉とボックスの間のすき間を調整してください。

左右調整

●扉の左右調整

左右調整ネジを廻して調整してください。

前後調整

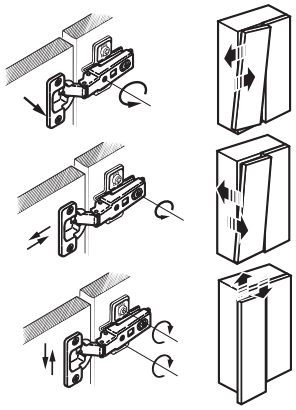
●扉の前後調整

前後調整ネジをゆるめ、扉を調整後、締め直してください。

上下調整

●扉の上下調整

上下調整ネジをゆるめ、扉を調整後、締め直してください。



⚠注意 扉の取り付け・調整は、上記の内容を参照し、正しく確実に行ってください。
取り付けが確実でないと、丁番の破損や扉の脱落の原因となります。

10. ご使用方法

1. 棚板をスライドさせる場合、扉は完全に開けてください。扉や本体に傷がつく恐れがあります。

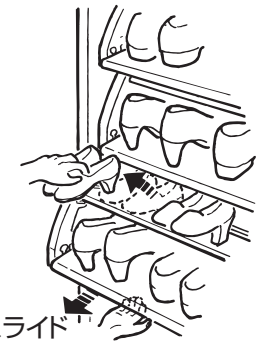
2. 靴の入れ方・出しかた
・棚板は2枚1組となって手前にスライドできる様になっています。

〈下棚の使いかた〉

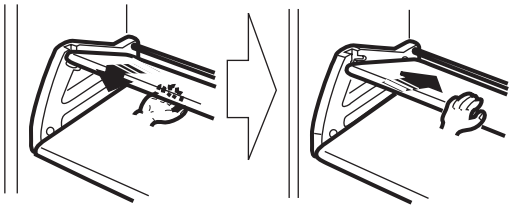
棚は水平になっているのでスライドさせずに出し入れします。

〈上棚の使いかた〉

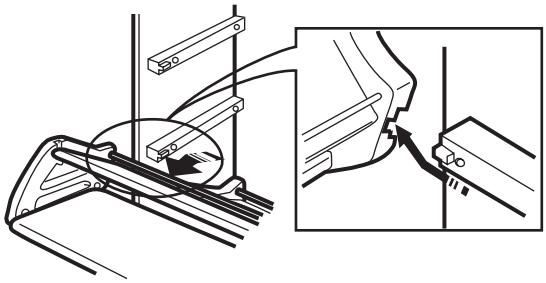
棚は斜めになっているのでつま先を手前側にして、棚板をスライドさせて出し入れします。



3. 収納スペースについて
・上棚（斜めの棚板）は高さを2段階に調整できます。スライド棚板全体を押さえながら上棚を手前に引くと、上棚の固定がはずれます。上下調整した後、奥に押しこんで上棚を固定します。
・靴（ヒール）の高さは130mm以下を目安に収納してください。上棚の2段階調整を上にすると下棚に160mm以下まで収納できる様になりますが、その場合、上棚に収納しにくくなります。
・つま先部分が、高い靴は収納できません。



4. 棚板の取りはずし
手前にスライドさせたところで棚板を上に持ち上げながらはずします。
取りつける場合は、逆の手順で行います。



使用上のご注意

・靴以外の物を収納しないでください。棚板が破損し事故の原因になります。
・扉やハンドル、棚板にぶら下がったりしないでください。
扉が落下したり、棚板が破壊する原因になります。
・スライド棚は急激に操作しないでください。
指をはさんだり、収納物が落下し、ケガの原因になります。

お手入れの方法

●本部の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。

耐荷重について

自在棚 2kg／枚まで

くつを収納するユニットです。これ以上載せられると棚板がたわむ恐れがあります。

木質材料の性質について

木質収納扉の「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた収納扉は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、収納扉周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、収納扉の室内側と収納庫側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。
「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、収納扉に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内側と収納庫側の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
③収納扉に直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と収納庫側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

玄関収納

■保証期間

引渡し後2年（電気部品は1年）とさせていただきます。弊社商品の引渡し完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合
②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など
⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

ご相談窓口について ●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様センター

0120-787-505
（フリーダイヤル）

● 携帯・PHSからは
TEL 0570-064-876へお電話ください。
● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンホーム&サービス株式会社

06-4257-3121

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。

http://www.daiken.jp/service/

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶
▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

北海道営業部	
札幌営業所	☎(011)207-5330
札幌特販営業所	☎(011)207-5330
旭川営業所	☎(0166)24-1377
函館事務所	☎(0138)47-7191
帯広事務所	☎(0155)25-8421
東北営業部	
盛岡営業所	☎(019)636-1161
仙台営業所	☎(022)243-6621
東北特販営業所	☎(022)243-6621
青森営業所	☎(017)735-8811
郡山営業所	☎(024)946-7211
秋田事務所	☎(018)862-4441
山形事務所	☎(023)632-2711
関東営業部	
埼玉営業所	☎(048)669-0660
宇都宮営業所	☎(028)621-6431
群馬営業所	☎(027)321-5511
新潟営業所	☎(025)285-5887
長野営業所	☎(026)222-6311
長岡営業所	☎(0258)33-5734
熊谷事務所	☎(048)527-5601
松本事務所	☎(0263)40-0370
首都圏営業部	
東京営業所	☎(03)6271-7731
横浜営業所	☎(045)222-4781
千葉営業所	☎(043)287-8491
多摩営業所	☎(042)571-3434
水戸営業所	☎(029)248-8511
静岡営業所	☎(054)288-3881
浜松営業所	☎(053)458-5751
山梨事務所	☎(055)275-7931
我孫子事務所	☎(04)7183-4070
相模原事務所	☎(042)770-9130
中京営業部	
名古屋営業所	☎(052)205-5811
名古屋特販営業所	☎(052)205-5811
三重営業所	☎(059)226-7073
岐阜事務所	☎(058)246-6752
三河事務所	☎(0564)65-8681
北陸営業部	
金沢営業所	☎(076)262-3211
北陸特販営業所	☎(076)262-3211
富山事務所	☎(076)429-7250
福井事務所	☎(0776)26-8508
近畿営業部	
大阪営業所	☎(06)6452-6200
大阪特販営業所	☎(06)6452-6220
リモデル営業所	☎(06)6452-6171
京都営業所	☎(075)341-8151
兵庫営業所	☎(078)321-1822
沖縄営業所	☎(098)879-4916
和歌山事務所	☎(073)473-8090
中国営業部	
広島営業所	☎(082)505-2525
広島特販営業所	☎(082)505-2525
岡山営業所	☎(086)262-2271
岡山特販営業所	☎(086)262-2271
山口事務所	☎(083)974-0303
福山駐在	☎(084)924-7196
四国営業部	
高松営業所	☎(087)866-6260
高松特販営業所	☎(087)866-6260
松山営業所	☎(089)934-7585
徳島営業所	☎(088)624-4210
高知駐在	☎(088)885-6202
九州営業部	
福岡営業所	☎(092)413-2345
福岡特販営業所	☎(092)413-2345
熊本営業所	☎(096)372-5211
南九州特販営業所	☎(096)372-5211
鹿児島営業所	☎(099)254-8300
北九州事務所	☎(093)522-1224
長崎事務所	☎(0957)35-0161
大分事務所	☎(097)533-8701
宮崎駐在	☎(0985)26-5908
東部住宅営業部	☎(03)6271-7721
集合住宅営業部	☎(03)6271-7751
工事建材課	☎(03)6271-7766
リモデル営業部	☎(03)6271-7761
リテール営業部	☎(03)6271-7755
西部住宅営業部	☎(06)6452-6232
集合住宅営業1・2課	☎(06)6452-6243
工事建材課	☎(06)6452-6245
住機製品事業部 営業課	☎(0763)82-5882